

| | | | | | | |
|-----|-----|-----|------|------|-----|-------------|
| 校 長 | 教 頭 | 事務長 | 教務主任 | 学年主任 | 担 任 | 令和 年 月 日 受理 |
| | | | | | | |

令和__年__月__日

茨城県立那珂湊高等学校長 殿

____年__組__番

生徒氏名 (自署) _____

保護者氏名 (自署) _____

体験活動推進日（ラーケーション）申請書

下記のとおり、ラーケーションを計画いたしましたので、申請いたします。

1 日 程 令和__年__月__日 ～ 令和__年__月__日 （__日間）

2 場 所 _____

3 参加者 _____ 名（ _____ ）
 2名以上で参加する場合は、（ _____ ）内に同行者の続柄（保護者、兄弟姉妹、祖父母、友人等）を記入してください。

4 内 容 _____

5 保険加入 有 ・ 無 （○で囲む）

6 今年度の申請前までの取得日数 _____ 日 （取得できる日数は年度内に5日までです。）

7 確認事項（確認して☑を入れる）

- 裏面の体験活動推進日（ラーケーション）について確認しました。
- 学校が示す「ラーケーションを取ることができない日」を確認しました。
- ラーケーションを取ることで受けられない授業内容サポートは、欠席や出席停止・忌引等の場合と同様であることを承知いたします。
- 「ラーケーション」については、「出席停止・忌引等」扱いとなり、生徒指導要録及び調査書等記載されることを了承いたします。
- 「ラーケーション」については、学校管理下ではなく保護者の管理下において実施することを了承いたします。
- 「ラーケーション」取得は、今回で（ _____ ）日です。残りは（ _____ ）日です。
- 実施日の1週間前までに申請書を提出いたします。

体験活動推進日（ラーケーション）について

■ 「体験活動推進日（ラーケーション）」とは（茨城県教育委員会Webページより）

これからの社会では、自己の在り方や生き方を考えながら、課題を発見し解決していくことのできる力が求められます。そのような力を身に付けるためには、地域に出かけたり、多くの人と出会ったりする体験的・探究的な活動を通して学んでいくことが有効です。また、自己の在り方や生き方を考えるためには、家の人とゆっくりと話をすることも大切です。思いや悩み、不安について家族と一緒に考えることで、これまでの生活を振り返り、今後を見つめる良い機会になります。

児童生徒が家の人などと一緒に、そのような時間を取ることができるよう、茨城県が設定したのが年間最大5日間の「ラーケーション」です。

- ・「ラーケーション」を取得した場合、学校は欠席にはなりません。
- ・「ラーケーション」は、連続して取得することも分散して取得することもできます。限度は年度内に5日間であり、残った日を次の年度に繰り越すことはできません。

■ 申請方法

本校指定の用紙を、本校Webページからダウンロードするか、担任から受け取り、本人・保護者が自署のうえ、原則1週間前までに担任に申請してください。

■ 実施時期

令和6年5月13日（月）から

■ ラーケーションを取ることができない日

- ・学校行事日（各月の学校行事については、本校Webページを参照願います。）
（主な学校行事：始業式、終業式、卒業式、中間・期末考査、各種診断テスト、クラスマッチ、校外学習、体験活動、修学旅行、健康診断、文化祭、校内発表会 など）
- ・その他学校や学年が必要と定める日
- ・詳細については学級担任へ確認してください